



丹野前会長に栄誉 旭日小綬章、功績に光

略歴	
昭和62年～平成2年	石巻湾漁業協同組合監事
平成2～12年	同代表監事
12～17年	同理事
17年	同第一理事
17～19年	同代表理事組合長
19年～令和2年6月	宮城県漁業協同組合石巻支所運営委員長
平成19～26年	宮城県漁業協同組合経営管理委員会委員
26年～令和2年6月	同会長
平成7～10年	宮城県種牡蛎漁業協同組合監事
18年～現在	宮城県漁業信用基金協合理事
21年～現在	全国海苔貝類漁業協同組合連合会理事
27年～令和2年6月	全国漁業協同組合連合会理事
26年～令和2年6月	全国共済水産業協同組合連合会理事
平成27年	全国漁業協同組合会長表彰(漁協運動功労者表彰)
28年	宮城県知事表彰(産業功労)
29年	一般社団法人大日本水産会(水産功績者)

令和2年秋の叙勲で、当組合の前経営管理委員会会長・丹野一雄氏(72)に石巻湾支所が旭日小綬章を授けられた。丹野氏は、震災後の復興に尽力し、水産物のブランド力向上と販売力強化にも努めた。支えていた組合員や地域、役職員のおかげで、感謝の気持ちでいっぱい。と喜びをこめしめる。

仙台湾に保護区域 同封チラシに詳細

経営は急速に回復し、平成30年7月に震災特別支援の優先出資66億8千万円を全額消却した。昨年6月に退任。「復興に全力を傾けた。2期6年はあっという間だった」と振り返る。

60年近いキャリアを誇るノリ養殖は「種苗に始まり種苗に終わる」と説く。安定生産が可能となる陸上採苗を約30年前に始め、石巻湾支所管内に進にエールを送る。



代表理事組合長 寺沢春彦

本年は、東日本大震災から10年を迎えることとなりますが、これまでを振り返りますと、一年として一年と、組合員皆さまの尽力の下、復興への確かな歩みを進めてきたものと感じております。あの未曾有の被害を乗り越え、漁業の再生産を可能とした大きな要因は、眼下に広がる豊穡の海が、復活を目指す私たちの背中を強く後押ししたと言つて過言ではありません。

そのような復興への歩みの下、昨年度の養殖漁

復興から発展への転換

業において、ホタテは貝毒の発生による出荷規制、ホヤにつきましても、貝毒の発生や韓国からの禁輸措置、漁船漁業は、海況の変化によるものか不漁が続く、併せて新型コロナウイルス感染症による消費活動の停滞により、漁家経営は非常に厳しい状況となっております。

加えて福島第一原発処理水の海洋放出も懸念され、これまでの漁業者の努力が水泡に帰すことがないよう、漁業者の総意として海洋放出は絶対反対の意思を示し、美しく豊かな海を将来に向け、守らなければならぬと改めて感じております。

今後は、付加価値向上による販路の拡大などを喫緊の課題としながら、組合員の収入増加や漁家経営の安定を図るため、関係機関と連携し、安心・安全な「宮城の水産物」の積極的なPRを行う



「献上のり」に選ばれた相澤氏(右)と丹野氏

相澤氏(七ヶ浜・代ヶ崎浜)が優賞

「第73回奉獻乾海苔品評会」の表彰式が1月11日、塩竈市の鹽竈神社で開かれた。最高賞の「優賞(県知事賞)」に輝いた相澤栄喜氏(67)は七ヶ浜支所代ヶ崎地区と「準優賞塩竈市長賞」の丹野一雄氏(72)は石巻湾支所に賞状とトロフィーを贈呈。両氏の作品は皇室に献上される。品評会と同神社の新年恒例行事で、産業振興大祭協賛会と当組合が主催。審査会は1月6日に開かれ、当組合11支所が出品した102点から入賞作66点を決めた。審査委員長を務めた県仙台湾振興事務所水産漁港部の末永浩章部長は「選外となった作品を含め、いずれも素晴らしい出来栄であった」と評した。相澤氏が献上のりの栄



仙石和男氏



江刺みゆき氏



大江清明氏

前会長・大江清明氏(64)は女川町支所に、それぞれ選ばれた。今年度は新型コロナウイルス対策で、例年東京都で行われる表彰式が中止に。寺沢春彦組合長が各支所に足を運び、3氏に賞状および記念品を伝達した。

年頭あいさつ

全漁連 仙石氏ら3氏に系統功労者表彰

全漁連の今年度漁協系統功労者表彰の受賞者が決まった。当組合からは3氏が栄誉に輝いた。

興功績者に女性部連絡協議会の前会長・江刺みゆき氏(79)は石巻地区支所と本所ほたて部会の

誉を受けるのは初。「黒々としたノリができたが、受賞はびっくり。大変光栄に思う。今後も精進を重ね、おいしいノリを全国に届けたい」と意気込みを新たにしたい。

寺沢春彦組合長が各支所に足を運び、3氏に賞状および記念品を伝達した。

▽寺等賞 相澤栄(石巻湾) 相澤太(矢本) 及川輝明(同) 赤間善勝(七ヶ浜・吉田浜) 佐藤勘一(同・代ヶ崎浜) 鈴木光博(宮西)

▽式等賞 本田智章(石巻湾) 津田雅彦(仙南) 木村宏(同) 内海修一(同) 齋藤吉勝(七ヶ浜・代ヶ崎浜) 津軽圭一(同) 梶田利一(七ヶ浜・要害)

▽技術賞 丹野薫(石巻湾) 木村清一(仙南) 津田正次(矢本) 三浦義孝(同) 星長一(七ヶ浜・東宮浜)

根付かせた。今は後継ぎの息子らに培ってきた技術を伝える毎日。「ひ孫と遊ぶ時間が最も多いかも」と目を細める。

近年は海洋環境の変化で獲れる魚種が減り、漁獲量も減少が続く。コロナ禍で漁家経営が厳しさを増すなか「良いときもあれば悪いときもある。しっかりと地に足をつけて頑張ることが大事」と後進にエールを送る。

協同組合論

北海学園大学経済学部教授

濱田 武士

23



新漁業法が令和2年12月1日から施行されました。新漁業法が施行されたからと言ってすぐに浜が変わるわけではありませんが、ただこの影響はシワジワとでてくる可能性があります。

ところで、旧漁業法から新漁業法に移行するにあたって、気になることはなかったですか。思い出してください。それは新漁業法の作成プロセスにおいて漁民の意見を全く聞かなかったことです。通常、法制化の作業では、その法が実態のなかで有効に働くかどうかを検証しながら進めら

れます。しかし新漁業法において漁民に意見を聞く機会が設けられたのは法制度が出来上がったからでした。しかも、その説明が行われた期間は平成30年の夏から秋に始まる臨時国会が始ま

新漁業法施行、課題克服へ団結を

短時間で。なぜこのようなことが起こってしまったのでしょうか。その答えは簡単です。漁業法の性格が大きく変えられてしまったからです。

漁業は、誰がどのようなことを前提にな

るまでの非常に短い間で。説明会は各地で行われましたが、現場との感覚の違いなどを丁寧に擦り合わせるなどの作業は行われませんでした。この説明会を通じて変更された箇所はわずかで。国会での議論も

にルールをつくって、そのルールをどのように運用して漁業者はどう守らせるかという特殊性をもった産業です。わが国では、ご存じの通り、浜の在り方が浜ごとに違い、漁場ごとに異なるルールがありま

た。新漁業法では、これらが全て否定されたわけではありません。しかし、水産業を成長産業化するという政策目標の達成は、これまでのま

は、旧漁業法でも行政が最終的に判断してきましたが、あくまで「漁業生産力を発展させ、あわせて漁業の民主化を図る」という漁業法の目的のもとで基本的な地元漁民の意向が反映される「しくみ」でした。新漁

業法では、「漁業生産力を発展させる」ことだけが目的になったので、地元漁民がどう考えようと漁業生産力が発展するものであるならば、それを行政が決めてよいというものになりました。

端的に言うと、地元漁民の意向に反しても、行政が「合理的だ」と判断するのならば海区漁業調整委員会の委員や、定置漁業権・区画漁業権を決定することになりま

す。そのために、役員・職員・組合員がまとまり、世代交代や組合員減少に対応したやり方を構築していく必要があるのです。

地域外の企業を参入させることができないというこ

は、旧漁業法でも行政が最終的に判断してきましたが、あくまで「漁業生産力を発展させ、あわせて漁業の民主化を図る」という漁業法の目的のもとで基本的な地元漁民の意向が反映される「しくみ」でした。新漁

業法では、「漁業生産力を発展させる」ことだけが目的になったので、地元漁民がどう考えようと漁業生産力が発展するものであるならば、それを行政が決めてよいというものになりました。

端的に言うと、地元漁民の意向に反しても、行政が「合理的だ」と判断するのならば海区漁業調整委員会の委員や、定置漁業権・区画漁業権を決定することになりま

す。そのために、役員・職員・組合員がまとまり、世代交代や組合員減少に対応したやり方を構築していく必要があるのです。

たほか、各支所職員のパソコンなど遠隔地から入札状況がリアルタイムで確認できるようにな

海の子作文24人表彰

テーマ多彩、観察力鋭く

女性部連絡協議会
県沿岸部の小中学生を対象とした第36回「みやぎの海の子」作文

会主催の表彰式が1月6日、石巻グランドホテルで開かれ、入賞者24人に賞状と記念品が贈られた。

感謝や思いやりの気持ちから、震災復興に向け懸命に歩みを進める浜の姿、環境・密漁問題に至るまでテーマは多彩。表彰式では各部門で最高賞の県知事賞に輝いた3人が作品を朗読した。

感謝や思いやりの気持ちから、震災復興に向け懸命に歩みを進める浜の姿、環境・密漁問題に至るまでテーマは多彩。表彰式では各部門で最高賞の県知事賞に輝いた3人が作品を朗読した。

感謝や思いやりの気持ちから、震災復興に向け懸命に歩みを進める浜の姿、環境・密漁問題に至るまでテーマは多彩。表彰式では各部門で最高賞の県知事賞に輝いた3人が作品を朗読した。

感謝や思いやりの気持ちから、震災復興に向け懸命に歩みを進める浜の姿、環境・密漁問題に至るまでテーマは多彩。表彰式では各部門で最高賞の県知事賞に輝いた3人が作品を朗読した。

感謝や思いやりの気持ちから、震災復興に向け懸命に歩みを進める浜の姿、環境・密漁問題に至るまでテーマは多彩。表彰式では各部門で最高賞の県知事賞に輝いた3人が作品を朗読した。

感謝や思いやりの気持ちから、震災復興に向け懸命に歩みを進める浜の姿、環境・密漁問題に至るまでテーマは多彩。表彰式では各部門で最高賞の県知事賞に輝いた3人が作品を朗読した。



県知事賞を受賞した（左から）星井さん、木村君、木村さん

感謝や思いやりの気持ちから、震災復興に向け懸命に歩みを進める浜の姿、環境・密漁問題に至るまでテーマは多彩。表彰式では各部門で最高賞の県知事賞に輝いた3人が作品を朗読した。

第36回「みやぎの海の子」作文入賞者					
部	賞	題名	氏名	学校名	学年
第一部	宮城県知事賞	わたしのうちのメカブ	星 まつり	南三陸町立戸倉小学校	2年
	宮城県漁業協同組合長賞	トナリは鮎川が川がながい	岩井 明澄	気仙沼市立大島小学校	2年
	宮城県漁業共済組合長賞	おとうさんのおしごと	狩野 樹樹	気仙沼市立松岩小学校	2年
	宮城県JF共済推進本部長賞	お父さんの海のしごと	大澤 龍生	石巻市立鮎川小学校	2年
	日本漁船保険組合宮城県支所運営委員長賞	海ではたらくお父さん	加藤 聖琉	気仙沼市立松岩小学校	3年
第二部	宮城県漁業信用基金協会理事長賞	ぼくに出来ること	菊田 築玖	気仙沼市立大島小学校	3年
	農林中央金庫仙台支店長賞	お父さんとの海の思い出	小松 蓮	気仙沼市立大島小学校	3年
	宮城県漁協女性部連絡協議会長賞	きれいな海	菅野 莉愛	南三陸町立戸倉小学校	3年
	宮城県知事賞	こちから第三十六龍丸大漁です	木村 海尋	石巻市立鮎川小学校	5年
	宮城県漁業協同組合長賞	大切にしよう山と海	畠山 冬伍	気仙沼市立松岩小学校	6年
第三部	宮城県漁業共済組合長賞	ぼくたちの希望のホシガレイ	浜田 侑生	石巻市立奇巖小学校	5年
	宮城県JF共済推進本部長賞	未来へつなぐ	及川 姫星	南三陸町立戸倉小学校	6年
	日本漁船保険組合宮城県支所運営委員長賞	大発見	石森 咲妃	石巻市立鮎川小学校	6年
	宮城県漁業信用基金協会理事長賞	大切な海が……	行田 望乃	塩竈市立浦戸小学校	6年
	農林中央金庫仙台支店長賞	自まんでできるすごい人	渡辺 隆介	石巻市立大原小学校	4年
第四部	宮城県漁協女性部連絡協議会長賞	自然の水産館	小山 龍馬	気仙沼市立中井小学校	5年
	宮城県知事賞	誇れる水産業	峯井 美和	石巻市立万石浦中学校	3年
	宮城県漁業協同組合長賞	海がある町に住むこと	槻木 澤玲心	女川町立女川中学校	2年
	宮城県漁業共済組合長賞	私が育つ海の恵みを生かすために	及川 真弥	気仙沼市立津谷中学校	1年
	宮城県JF共済推進本部長賞	海の思い出と今年の夏	伊藤 心晴	気仙沼市立大島中学校	2年
第五部	日本漁船保険組合宮城県支所運営委員長賞	いつも傍にある海	畠山 慎平	気仙沼市立唐桑中学校	1年
	宮城県漁業信用基金協会理事長賞	大島の海を守るために	高須 舞優	気仙沼市立大島中学校	3年
	農林中央金庫仙台支店長賞	農産にできること	及川 夏苗	気仙沼市立津谷中学校	3年
	宮城県漁協女性部連絡協議会長賞	女川の海	須田 悠介	女川町立女川中学校	1年



宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

宮城県漁業協同組合

質のいい肉厚ワカメの安定生産を



北上町十三浜支所 組合員数 228 人(正 78 人、准 150 人)。職員は 3 人。販売取扱高は令和元年度で 4 億 1200 万円。うち塩蔵をはじめとするワカメが約 4 分の 3。そのほか、ホタテや塩蔵コンブ、アワビ・ウニなど。

外洋育ち、歯応え抜群

外洋で育てる肉厚で良質なワカメで知られ、共販でも毎年最高級の評価を得ている。北上川が運ぶ栄養をたっぷり取り入れ、外洋の荒々しさが成長を抑制するため、おいしく歯応えのいいワカメが出来上がる。昨季は残念ながら後半シケが続いて、昨今はボランティアも来なかったが、ワカメの塩蔵加工の人手のほう

は各漁家でなんとか工面立していく構えだ。



西條寛運営委員長



武山さち子支所長

北上町十三浜支所

支所を訪ねて

矢本支所

矢本支所 組合員数 58 人(正 19 人、准 39 人)。職員は 4 人。販売取扱高は令和元年度で約 7 億 2000 万円。うち 91%が乾のり。そのほか生ワカメ、小型定置、ホッキ。良質のノリ生産で知られ、皇室献上の常連。



漁場と技術に育まれ

西に鳴瀬川、東に北上川、中間に定川が豊富な栄養を運ぶ恵まれた漁場で、古くから良質なノリを生産し、東松島市の基幹産業を支えてきた。生産者たちの意識も技術も高く、震災前は 6 年連続皇室献上を果たし、昨季は優良・準優良のダブル受賞。



及川輝明運営委員長



鶴田勇一支所長

恵まれた漁場で上質のりの増産目指す



矢本漁場でのノリ摘み

員は苦戦した。ノリのほらも、温暖化対策には余念がない。残暑厳しい時期の種付けにはトラックで何度も氷を買いに走り、顕微鏡で見ながら最適な水温を保つようにしている。水温が高い日が続くと、網洗いの回数を増やすなど、どこにも負けないノリを生産するために手間暇をきちんかかっている。

後進育成も順調

震災前から行っている陸上採苗により生産も安定。震災後は少数精鋭の 12 人で 4 つのグループを作り、4 棟の施設を順番に使っている。従業員には社会保険や年金など雇用環境も整え、年雇用をしているため、20 代の若い人も多い。「年長の生産者のなかには後継者がいる人もいるし、いない人は従業員を後継者として育てている」と鶴田勇一支所長は話す。こうしたことに加え、コ

施設更新が課題

目下の心配事は、機械の入れ替え。震災後 9 シーズン目を迎える、機械の老朽化が進んでいる。シーズン中は 3 人で 1 人当たりほぼ 24 時間休みなく

課題を整理し解決へ

もみられ、おまけに単価が安い。11、12 月のアワビ開口では、昨季 2 度しか出られなかったためか資源は豊富にあった。ただ、アワビの漁場にムラサキウニが真つ黒になるほど増え、磯焼けが進んでいるのを実感。ウニの資源も生かし、磯焼けも解決するような方法を見つけていければ、危機感を募らせる。

成功事例を参考に

アイナメ、マツブがいなくなり、タチウオやサワラ、フグが増えた。「海の状態は確かに変わっている。この先生が残るためにはなにか突破口



豊かな漁場が広がる十三浜地先

がない」と武山支所長。養殖の水揚げはそのうち頭打ちになるのではと西條運営委員長も心配する。ホタテ、コンブなど、北洋系のもはなおさらだ。かといって、新規にこの環境に合う養殖方法を模索したり、その養殖方法を確立し設備投資をするのなかなか難しい。「よそで成功事例があればぜひ知りたい。研究の途中経過でもいいからききたい」と西條運営委員長は切実に言う。



セリが彩りを添える滝川の丼物(左)。釜で炊き上げたカキ飯入り弁当も人気でした

石巻産カキをPR

飲食店とコラボ、丼など好評



旬のカキを使った弁当などを買い求める市民(昨年11月21日)

水産養殖管理協議会(ASC)認証取得の石巻産カキを味わうイベント「いしのまき牡蠣づくし」が昨年 11 月 21 ~ 29 日、石巻市内で開かれました。市中心部の和食店 7 店が、身入りの良いカキをふんだんに使ったオリジナルの丼物と弁当を提供。大勢の市民が買い求め、旬の味覚を堪能しました。当組合の石巻市東部、石巻湾、石巻地区の 3 支所と市などでつくる石巻かきブランド化事業委員会が主催。初日はいしのまき元気いちば前で、石巻芽生会(石巻料理店組合)に加盟する各店が計 180 食を特価販売しました。午前 10 時半の開始前から長蛇の列。市特産のセリをアクセントにした治部煮風丼や、カキ料理を詰め合わせた松花堂弁当などが並び、30 分ほどで完売する盛況ぶりでした。石巻芽生会の阿部司会長(割烹「滝川」代表)は「石巻産カキは自信を持ってお客さんに薦められる食材。生食が一番だが、一手間加えた新メニューの開発にも挑戦したい」と話していました。